

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 松本油脂製菓株式会社

コード番号 4365 URL <http://www.mtmtvs.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 山田 正幸

TEL 072-991-1001

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	7,592	9.2	1,085	86.2	1,652	487.3	1,055	652.5
25年3月期第1四半期	6,956	△5.2	582	54.0	281	△33.7	140	△46.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,400百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △75百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	115.11	—
25年3月期第1四半期	13.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	47,803	39,082	81.3
25年3月期	46,960	38,232	80.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 38,845百万円 25年3月期 38,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,750	7.4	1,400	42.3	1,570	107.3	1,010	115.1	101.76
通期	30,000	10.0	2,900	21.3	3,200	17.8	2,050	28.0	206.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	11,281,629 株	25年3月期	11,281,629 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	2,110,970 株	25年3月期	2,110,958 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	9,170,667 株	25年3月期1Q	10,177,396 株
----------	-------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しておりますが、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代を機に為替や株価に好転の兆しが見られ、明るさを取り戻しつつありますが、反面エネルギーコストの上昇や原材料価格の高騰懸念が国内産業に影響を及ぼし始めており、依然として先行きは不透明な状況であります。また、解消されない欧州の信用不安、広がりつつある中東での反体制運動とマイナス要因はあるものの、米国の雇用回復、主要各国でトップ交代が行われたことによる世界経済の舵取りの変化など、徐々にではありますが、世界経済は回復基調にあると見受けられます。

当社グループの重要な販売分野である国内繊維産業におきましては、海外生産が更に拡大しており、その影響を受けております。一方海外の繊維産業向けでは、解消されない欧州の債務問題で中国の景気減退が続いており、アジア地域やその他の地域にも引き続き影響が波及しております。

非繊維分野におきましては、国内の自動車生産は震災の影響から順調に回復し、堅調に推移していましたが、中国向け部品生産は停滞しております。住宅関連は2014年度の消費税増税の影響で生産増加の兆しが見えております。一方海外では、欧州は引き続き経済不況ですが、米国は雇用回復に伴う経済回復が見られており、その影響を受け、中国をはじめとするアジア諸国も米国向け景気がやや回復基調にあります。

このような状況下、当社グループでは、販売・利益を確保するため、競争力のある高品質・低価格商品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した商品の早期開発に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高7,592百万円（前年同四半期比9.2%増）、営業利益1,085百万円（前年同四半期比86.2%増）、経常利益1,652百万円（前年同四半期比487.3%増）、四半期純利益1,055百万円（前年同四半期比652.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本における当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は7,401百万円（前年同四半期比9.0%増）、セグメント利益（営業利益）は1,114百万円（前年同四半期比112.2%増）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内合繊メーカー各社が縮小傾向の中、安定した販売実績となりました。海外への販売におきましては、中国合繊メーカー各社への拡販により販売数量が伸び、外部顧客に対する売上高は812百万円（前年同四半期比8.5%増）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、消費低迷と繊維製品の低価格化によりテキスタイル分野の加工量が減少しました。炭素繊維は航空機向けを中心に回復基調で推移しました。また、化学工業分野では洗浄剤原料の販売が増加しました。海外では欧州向け需要が低迷する中、弾性繊維分野は不調ですが、工業用繊維分野、衣料繊維分野、高機能繊維分野ともに販売数量を伸ばしました。その結果、外部顧客に対する売上高は4,422百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、繊維関連加工剤の販売は加工量が減少し、低調な結果となりました。化学工業分野では原料価格値上げに伴う製品価格の是正に努めるとともに、新規洗浄剤原料の販売増加もあり、外部顧客に対する売上高は286百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維関連では、織布向け製織用糊剤の販売が堅調に推移しました。非繊維関連では、液晶分野設備の投資低迷が徐々に解消され、設備投資関連資材の販売が増加に転じました。化粧品原料は堅調に推移しております。建材関係でも徐々に回復の兆しが見えており、自動車分野向けの有機高分子製品の販売も好調に推移しました。その結果、外部顧客に対する売上高は1,881百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

② インドネシア

インドネシアにおける当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は191百万円（前年同四半期比15.4%増）、セグメント利益（営業利益）は9百万円（前年同四半期比43.6%減）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、金額とも前年を上回りましたが大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高は1百万円（前年同四半期比9.1%増）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、スパン用、フィラメント用平滑剤は糊剤の低迷に伴い販売数量が減少しました。合織の紡糸、紡績、コーニングオイル油剤も加工量の低下で若干販売数量が減少しましたが、新規拡販中の精練剤が増加しました。その結果、外部顧客に対する売上高は100百万円（前年同四半期比35.1%増）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高は0百万円（前年同四半期比46.7%減）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、中国からの糸、製品輸入が増え、フィラメント織物についても加工量が減少しております。更に、擦糸織物の比率が高まりサイジング織物が減り、糊剤の需要が減少しました。また昨年のオートローン規制による頭金の下限制度の影響により、オートバイの販売台数が減少し、更に米国向け自動車タイヤの輸出減少も加わり、タイヤ離型剤の販売数量が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は88百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という）比842百万円（1.8%）増加して、47,803百万円となりました。流動資産は前期末比478百万円（1.4%）増加の33,735百万円、固定資産は前期末比364百万円（2.7%）増加の14,067百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が142百万円、繰延税金資産が139百万円前期末よりそれぞれ減少したものの、受取手形及び売掛金が680百万円前期末より増加したことによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、投資有価証券が398百万円前期末より増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比7百万円（0.1%）減少の8,720百万円となりました。流動負債は、前期末比133百万円（1.6%）減少の8,007百万円、固定負債は前期末比126百万円（21.6%）増加の713百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、買掛金が274百万円前期末より増加したものの、未払法人税等が315百万円、賞与引当金が223百万円前期末よりそれぞれ減少したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債が127百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比849百万円(2.2%)増加して39,082百万円となりました。

純資産増加の主な要因は、利益剰余金が505百万円、その他有価証券評価差額金が309百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の80.9%から81.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間における業績は、売上高はほぼ予想通りに推移しておりますが、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては当初の予想を上回っております。しかし、今後の原材料の高騰や為替の動向などによる影響が不透明であることから、平成25年5月10日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、確定次第お知らせします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

前連結会計年度において連結貸借対照表の「投資その他の資産」に独立掲記しておりました「長期貸付金」及び「繰延税金資産」は、重要性が乏しくなったため、当第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「投資その他の資産」に表示していた「長期貸付金」1百万円及び「繰延税金資産」4百万円は、「その他」として組み替えております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,381	19,238
受取手形及び売掛金	7,845	8,526
有価証券	1,231	1,290
商品及び製品	1,886	1,766
仕掛品	414	447
原材料及び貯蔵品	1,062	1,062
繰延税金資産	344	204
その他	1,092	1,201
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	33,256	33,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,428	6,450
減価償却累計額	△4,167	△4,223
建物及び構築物(純額)	2,261	2,226
機械装置及び運搬具	10,100	10,112
減価償却累計額	△8,569	△8,678
機械装置及び運搬具(純額)	1,530	1,433
土地	530	532
建設仮勘定	68	117
その他	1,502	1,507
減価償却累計額	△1,373	△1,381
その他(純額)	128	125
有形固定資産合計	4,519	4,435
無形固定資産		
その他	17	16
無形固定資産合計	17	16
投資その他の資産		
投資有価証券	8,592	8,991
その他	579	629
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	9,167	9,616
固定資産合計	13,703	14,067
資産合計	46,960	47,803

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,319	5,594
短期借入金	700	700
未払法人税等	817	501
賞与引当金	273	50
その他	1,030	1,161
流動負債合計	8,140	8,007
固定負債		
退職給付引当金	292	290
資産除去債務	96	97
繰延税金負債	103	230
その他	94	95
固定負債合計	587	713
負債合計	8,727	8,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,517	6,517
利益剰余金	28,777	29,283
自己株式	△3,598	△3,598
株主資本合計	37,786	38,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	434	743
為替換算調整勘定	△215	△190
その他の包括利益累計額合計	218	553
少数株主持分	227	237
純資産合計	38,232	39,082
負債純資産合計	46,960	47,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,956	7,592
売上原価	5,420	5,535
売上総利益	1,535	2,057
販売費及び一般管理費	952	971
営業利益	582	1,085
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	22	27
持分法による投資利益	11	25
為替差益	—	481
その他	34	31
営業外収益合計	74	570
営業外費用		
支払利息	1	1
投資事業組合運用損	316	—
為替差損	54	—
その他	3	2
営業外費用合計	376	3
経常利益	281	1,652
特別利益		
固定資産売却益	—	0
関係会社株式売却益	12	—
特別利益合計	12	0
特別損失		
固定資産除却損	8	0
特別損失合計	8	0
税金等調整前四半期純利益	285	1,651
法人税、住民税及び事業税	11	490
法人税等調整額	110	115
法人税等合計	122	605
少数株主損益調整前四半期純利益	163	1,046
少数株主利益又は少数株主損失(△)	22	△9
四半期純利益	140	1,055

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	163	1,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△247	309
為替換算調整勘定	16	38
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	6
その他の包括利益合計	△238	354
四半期包括利益	△75	1,400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△107	1,390
少数株主に係る四半期包括利益	31	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	6,790	165	6,956
セグメント間の内部売上高 又は振替高	78	10	88
計	6,868	175	7,044
セグメント利益	524	16	541

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	541
セグメント間取引消去	32
棚卸資産の調整額	9
四半期連結損益計算書の営業利益	582

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	7,401	191	7,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76	9	86
計	7,478	200	7,678
セグメント利益	1,114	9	1,123

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,123
セグメント間取引消去	△25
棚卸資産の調整額	△12
四半期連結損益計算書の営業利益	1,085

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。